

アーティスト・イン・レジデンス ブルガリア派遣員決まる

アーティスト・イン・レジデンスブルガリア派遣員に決まった。(写真前列右から)長堀勉さん・稲葉健一さん・相田正志さん・佐藤友昭さん。(写真後列右から)加藤幸彦さん・浅賀正治さん・佐藤善久さん



桜川市の石彫家が、ブルガリアに一定期間滞在して、石文化による国際交流や創作活動を行う、アーティスト・イン・レジデンスブルガリア派遣員の選考委員会が開催され、7人の派遣員が決まりました。

今後派遣員は、ブルガリアの石文化の歴史や石彫などについて研修し、11月下旬からの派遣事業に備えます。「次世代にもつづりの大切さを感じてほしい。日本の伝統的技術を知ってほしい。この機会に他国との交流を広げたい。」と、みなさんは話していました。

真壁高校でアイガモを使った イネ栽培実習がスタート

環境問題も含めて古来の農法から新しい農法を学ぼうと、アイガモ水稲同時作りに取り組む真壁高校イネ部の生徒のみなさん



県立真壁高等学校の稲荷原農場で「温故知新く古来の農法から新しい農法を学ぼう」と、アイガモを使ったイネの栽培実習がスタートしました。

学科を超えた部活動(イネ部)の男子生徒9人によって、10羽の実習田にアイガモの雛21羽が放たれ、アイガモ水稲同時作の実習が始まりました。アイガモ農法は、アイガモが雑草や害虫を食べると同時に、水かきが土をかき回すことにより根に酸素を与え、さらにはその排泄物が肥料となるなど環境にもやさしい農法です。

県トラック協会から真壁町商店会 連合会に木製ベンチ寄贈

旧真壁郵便局脇で行われた贈呈式で、(社)茨城県トラック協会の飯泉協会長(写真左)から、真壁町商店会連合会の増田会長(写真右)にベンチ3セット(1人・2人・3人掛けで1セット)が贈呈されました。



(社)茨城県トラック協会から真壁町商店会連合会に、県産間伐材(杉材)を活用した「人と環境にやさしい茨城県ベンチ」が寄贈されました。

同協会は、地球温暖化対策として元気な森作り促進事業などの社会貢献を行っている団体。今回は、ベンチを積極的に活用する商店街を募集した結果、県内12の商店街に寄贈されました。同連合会では、東京芸術大学でデザインされたこの木製ベンチを、商店街6か所に設置しました。お出かけの折りにご利用ください。

内科宮本医院から樺穂小学校に AED(自動体外式除細動器)寄贈

内科宮本医院の宮本理事長(写真左)が樺穂小学校を訪れ鈴木校長(写真右)にAED(自動体外式除細動器)が手渡されました。



内科宮本医院(宮本昭彦理事長)から樺穂小学校にAEDが寄贈されました。

同校の学校医を務める宮本理事長は、同校教職員にAEDの講習を実施しており、今回は市内全ての小・中学校にAEDが普及し、小さな命が守られること願って寄贈されました。同医院は、県内でも数少ない心臓病専門医で、宮本理事長指導の下、真壁消防分署の協力を得て、県立真壁高校でAED講習を実施。この事が、全国初となる県立高校全てにAEDが導入される大きな切っ掛けとなりました。

田宮杯中学校野球大会で 大和中学校が初優勝

第28回田宮杯中学校野球大会で優勝した大和中学校野球部の皆さん



筑西市下館運動場などを会場に、県西地区の中学校22校が参加した「第28回田宮杯中学校野球大会」で、大和中学校野球部が初優勝の栄冠に輝きました。

この大会は、県立下館商業学校(現下館第一高等学校)出身で、後に阪神タイガースで投手として活躍した田宮謙次郎氏の功績を称えて行われているもので、同校は、決勝戦で千代川中学校(下妻市)を2-0で下し、勝利をもぎ取りました。また、決勝戦を完投完封で飾ったピッチャーの飯島悠佑さんが最優秀選手賞に選ばれました。

新緑の月山寺で 子どもたちが茶会を開催

「よい子の茶道教室」の子どもたちが日頃の練習の成果を見ていただいたことと、曙光山月山寺で新緑茶会を開催しました。



風薫る新緑の曙光山月山寺(西小嶋地区)で、日本の伝統文化を学ぶ「よい子の茶道教室」の子どもたちが、表千家茶会を開催しました。

この茶会は、文化庁委嘱事業として行われている同教室の子どもたちが、日頃の練習成果の発表の場として行われたもので、子どもたちは、お客様をお迎えして緊張しながらも、丁寧なお点前を披露しました。「茶道の指導を通して、子どもたちの心身の成長を感じ嬉しく思っています。」と、指導する仙波宗治さんは話していました。

真壁ライオンズ・ライオネス クラブが交通安全キャンペーン

真壁ライオンズ・ライオネスクラブの地域社会への奉仕活動として、安全運転を呼びかける「交通安全街頭キャンペーン」が行われました。



ドライバーの皆さんに安全運転心がけてもらおうと、真壁ライオンズ・ライオネスクラブ主催の「交通安全街頭キャンペーン」が、真壁地区の交差点で行われました。

これは両クラブの地域社会への奉仕活動として行われたもので、会員30人が参加。桜川警察署の協力のもと、啓発品とドライバーの安全運転をネギらう真壁地区特産のネギを配付して、交通安全を呼びかけました。また、両クラブから真壁地区4つの小学校新入学児童に、ノートのプレゼントもありました。

岩瀬カラオケ連合会・わくわく 連合会から市の社会福祉に寄付

桜川市カラオケ連合会の鈴木勝会長(写真左から3人目)・桜川市わくわく連合会萩原廣会長(写真左から2人目)と会員の皆さんから、中田市長(写真右から3人目)に寄付金が手渡されました。



桜川市カラオケ連合会(鈴木勝会長)と桜川市わくわく連合会(萩原廣会長)から、市の社会福祉に寄付がありました。

これは、岩瀬体育館(ラスカ)で行われた、両連合会主催「チャリティー文化祭」(カラオケ・舞踊などの発表会)に参加された会員の方などから、愛の募金を募り、少しでも社会生活の中で援助を必要とされている方々に、役立てていただければと寄付されたものです。この催しは、今年で5年目を迎えますが、これまでにも車椅子や杖などを寄贈いただいております。